

近所のアトリエ

動坂の画家・長原孝太郎と鷗外



鷗外が文京区に暮らした明治20年代から大正期、区内には文学者だけでなく美術家も多く暮らしていました。鷗外の居宅・観潮楼（現・当館）にほど近い動坂周辺にアトリエを構えた長原孝太郎（号・止水^{しずみ}）もその一人です。長原は小山正太郎や原田直次郎、黒田清輝に学んだ後、東京美術学校（現・東京藝術大学美術学部）で長く教鞭を執った洋画家です。

鷗外と長原は原田を通じて出会ったようです。長原は鷗外の主宰雑誌「めさまし草」の裏表紙絵を皮切りに、鷗外の著書や主宰雑誌に優れた装丁を施しました。装丁以外にも、鷗外が長原の作品を評したり、植物を贈りあったり、鷗外没後には次女・杏奴と三男・類が長原に絵画を学ぶなど、公私に渡る交流がありました。

鷗外は長原のことを「動坂にある長原と云ふ友達」（小説『田楽豆腐』）と記しています。二人は互いについて多くを語ることはありませんでした。鷗外の仕事や暮らし、コミュニティの中に、長原の存在をしばしば確認することができます。鷗外の「友達」長原孝太郎を、館蔵資料からご紹介します。



タリビアセンター提供

長原孝太郎（1864―1930）

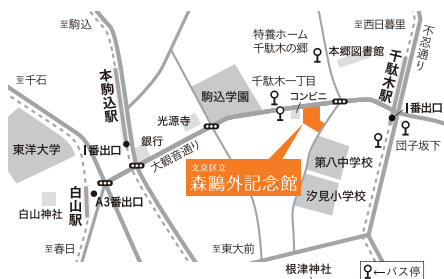
岐阜県生まれ。洋画家。明治12（1879）年、東京大学予備門入学、後に退学。画家を志し小山正太郎、原田直次郎に学ぶ。26（1893）年、風刺漫画雑誌「とばあ」創刊。28（1895）年、黒田清輝に師事、翌年白馬会に参加。31（1898）年、東京美術学校助教授（後に教授）。代表作に《停車場の夜》《入道雲》《残雪》など。2024年に生誕160年を迎える。



左上 雑誌「めさまし草」裏表紙絵 鷗外主宰雑誌。巻之3～36の裏表紙絵は長原が担当、世相や風俗を風刺的に描いた。左下 アンデルセン著、鷗外訳『即興詩人』上下巻 春陽堂 明治35年 長原による鷗外著書の装丁。物語の舞台イタリアを思わせるオリブを装飾的に配した。右 長原孝太郎《残菊》制作年不詳 菊やススキなど秋の植物を描いた油彩画作品。当館初公開の新収蔵資料。



交通案内



電車

東京メトロ千代田線「千駄木」駅1番出口徒歩5分
東京メトロ南北線「本駒込」駅1番出口徒歩10分
都営三田線「白山」駅A3番出口徒歩15分
JR線・京成線「日暮里」駅西口徒歩15分

バス

都営バス草63番系統「千駄木一丁目」下車徒歩1分
都営バス上58番系統「団子坂下」下車徒歩5分
Bーぐる千駄木・駒込ルート「19 特養ホーム千駄木の郷」下車徒歩5分

※一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

講演会

《裏表紙》で鷗外を支えた画家、止水長原孝太郎

駒込千駄木町そして動坂町、観潮楼にほど近く暮らしていた二歳年下の画家と鷗外との文化的交流の様を追います。

講師 須田喜代次氏

（大妻女子大学名誉教授・森鷗外記念会会長）

日時 2024年3月2日（土）14時～15時30分

会場 文京区立森鷗外記念館 2階講座室

定員 50名（事前申込制）

料金 無料（参加票と本展覧会観覧券（半券可）が必要）

申込締切 2月19日（月）必着

申込方法

往復はがき

往信に「3月2日講演会」・氏名（ふりがな）・住所・電話番号を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木 1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連講演会」受付係までご応募ください。

Eメール

件名に「3月2日講演会」、本文に氏名（ふりがな）・電話番号・Eメールを明記の上、bm-k-event@moriogai-kinenkan.jp にご応募ください。

※申し込みは、1通につき1名様（お一人様1通まで）、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

※ご不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

コレクション展ギャラリートーク

当館学芸員が展示解説を行います。

日時 2024年2月14日（水）、3月20日（水・祝）

いずれも14時～（30分程度）

申込不要、当日の展示観覧券が必要です。

2024年1月19日（金）は鷗外の誕生日

鷗外162回目の誕生日を記念して、1月19日（金）は無料で展覧会をご覧ください。

記念館がみんなのアトリエ！ 千駄木こどもギャラリー

コレクション展にちなみ、千駄木、文京区、家族や友だちを描いた絵画を募集します。

対象 主に小学生（幼児の方も可）

募集期間 2024年3月1日（金）～3月9日（土）

展示期間 3月20日（水・祝）～4月7日（日）の開館日

展示会場 文京区立森鷗外記念館内

※詳細は記念館HPをご確認ください。

次回展示

特別展「鷗外先生（仮称）」

2024年4月13日（土）～6月30日（日）予定

陸軍軍医学校、東京美術学校、慶應義塾大学部などで教員を務めた鷗外を紹介します。



文京区立
森鷗外記念館
Mori Ugai Memorial Museum



〒113-0022 東京都文京区千駄木 1-23-4

電話：03-3824-5511

URL：<https://moriogai-kinenkan.jp>

モリキネカフェ

10時30分～17時30分（ラストオーダー17時）